

令和4年5月17日

藤村直史教授・重村壮平助手日本選挙学会賞のお知らせ

法学研究科藤村直史教授と重村壮平助手が、2022年5月7日に日本選挙学会優秀ポスター賞を受賞しました（ページ下部のリンクをご参照ください）。2021年5月9日に日本選挙学会研究大会での「どのような条件下で政治家は選挙操作・不正を是正しようとするのか？一票の格差に関する都道府県議会議員へのサーヴェイ実験」報告に対する受賞です。

本研究は、都道府県議会議員に対するサーヴェイ実験を行い、議員をランダムに定数不均衡の是正に関する裁判所や市民からの要求に接触させました。実験は、(1) 政治家は裁判所からの要求によって定数不均衡是正にむしろ反対の態度をとること、(2) 無投票で当選した政治家のみ市民からの要求で是正賛成の態度をとることの2点を明らかにしました。

日本選挙学会の選評では、議員に対して実験を行った方法論的特徴が高く評価されました。また、本研究の知見は、裁判所や市民からの要求は政治家が選挙不正・操作を是正することにはつながりにくいことを示しており、なぜ選挙不正・操作が世界中で広く維持されているのかに対する答えを与えています。

参考ページ（日本選挙学会）

<https://www.jaesnet.org/research/societyaward.html>